

当院の透析導入状況（特に緊急透析導入）に対する考察

1. 研究の対象

2015年4月1日～2017年3月31日に当院で維持透析導入された方

2. 研究目的・方法

目的

当院における透析導入において、透析療法選択シートを用いたチームでの介入を行っている。このため、より客観的な患者のニーズを明らかにすることができる。現時点でその成績をレトロスペクティブに評価することは今後の腎不全医療を考えるうえで非常に重要な指標になると考えた。

方法

当院透析導入を必要とした患者について、レトロスペクティブに成績（年齢、性別、維持透析方法、入院日数、アクセス手術までの日数、在宅復帰率、入院費、導入時の臨床データ（Ccr、尿量、電解質、Hb、HCO₃、血圧）を評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、維持透析方法、入院日数、アクセス手術までの日数、在宅復帰率、入院費、導入時の臨床データ（Ccr、尿量、電解質、Hb、HCO₃、血圧）等

4. 研究組織

研究施設：済生会熊本病院 腎臓科部長 副島一晃

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 腎臓科医長 井上浩伸

TEL：096-351-8000(代)

研究責任者：

済生会熊本病院 腎臓科部長 副島一晃

以上